

政務活動報告書

日本維新の会 大久保 ゆみ

県議会議員となつてここまで19箇所の視察を行ってまいりました。

今後栃木県に必要な情報ではないのかまた、今だからこそ視察すべきだと考えて行ってまいりました。

(子どもに関する視察)として、東京都港区にある(子供の視点カフェ)では、伊藤忠商事が外苑のそばの空きスペースに子供目線での見方で子供の屋内の今までになかった親も学べる斬新なカフェを作った、現代社会において子供もたちの取り巻く環境を子供目線で表している。

栄養失調の子供がいる中でここでは肥満になりかねない警告を親に訴えている。

宇都宮中核都市サミット2024年で子供ファーストを掲げている岐阜市、

岐阜県岐阜市での取り組み、(エール岐阜)での児相・県警・教育委員会・市が連携して同室連携を行い子供たちがどこに行っても守れる、何かあった場合は数分間で会議が行われ迅速に会議が開かれるしくみです。

子供科学館はちょうどリニューアルが近いこともあり、市営ではありますが注目されている博物館にできるだけ行こうと数カ所視察させていただきました。特に北九州市立自然史・歴史博物館 いのちのたび博物館は上野の博物館よりは小さいものの剥製の並べ方や子供の目を引く取り組みに見習うところがあるなと思いました。

新しくリニューアルする栃木県の科学館にも全国の博物館アプリなどにまだ未登録だったりともう少し進化すべき余地があるように思いました。今回陳情をいただき視察調査に行った元気アップ村も子供達への遊具の安全性やペットが禁止なこと、宿泊施設の問題など高根沢選出県議会議員佐藤氏と意見交換いたしました。

子供の運動指導者として25年間の指導経験からもアドバイスそして多くの課題を感じました。

児童養護施設きずなについては、以前から子供の看護措置について気になっていたこともあり昨年の一般質問に関してこのテーマも検討しておりました。

児童措置の理由は比率が多い順に虐待、破産等の経済的理由、父母の精神疾患等、父母の拘禁、父母の就労、児童問題による監護困難であり虐待の受けた児童は年々増加している。

本施設での大きな問題点は・経営「①人員配置②生活消費」・職員人員の確保・勤務体制や専門分野等の資質の向上・一時保護中の事件、事故発生へのリスク管理・男女別ユニットでの整備などが挙げられている。

①…2.5名とされているが現状は6~7名稼働②…1~5日(1日4340円)・6~30日(1日1200円)・31日~(1日1720円)この件に関しては全国女性都道府県議会議員の勉強会でも直接この問題を子ども家庭庁の執行部に質問そして要望させていただきました。

熊本県コウノトリのゆりかごについては、以前から栃木県でもこの取り組みはないのか(済生会の中に栃木県が近い施設を併設している・見学済)調査し、熊本のこの病院の取り組みを看護師長から直接話を聞くことができました。今後の栃木県の女性活躍(女性を守る活動など)に参考にしたい、

少子化対策で素晴らしい功績を挙げている、埼玉県の結婚相談所は県の予算が栃木県の10分の1で自立した1企業としても活躍し、お見合いソフト(システム)にも私は興味を持っている、予算を多く取らなくても活動が世界的に取り上げられている埼玉を見習うべきと今後も調査していきたい。

少子化に少しでも歯止めがかけられたらと思います。

(文化財・自然保護・環境問題について)

板橋県議の一般質問の内容に感銘刺激を受けてコウノトリの遊水池(渡良瀬遊水地)の視察とラムサール条約についての視察調査に行ってきました。栃木の有数の自然環境保護区でもあり今後の課題なども館長からもお話をお聞きすることができました。また板橋県議の訴えているゴミの問題についてもまずは議会図書館で調べてそこから広島の日本一美しい働く人も誇りを持っているゴミ処理施設を見学し今後もごみについても調査していく。また他県の重要文化財の保護について

そして民間が参入し最古の施設を維持している牛久シャトーの課題と展望と足利のココワイナリーの課題と展望などリンクするものがあつた、第6次産業と高齢者・障害者との就労にもこの二つの例も参考にして研究していきたい。牛久市では複数カ所の社会福祉法人を見学することができました、特養・グループホーム・デイサービスなど事細かに見学をさせていただき、高齢者の声（私設利用者・管理者の声）も聞くことができた。宇都宮は排気ガスが黙々と出るバスがまだ走っており、これに学生からの声を受けて、環境森林部のヒアリングを受けたのちに東京都の排ガスの規制の軌跡を東京都庁でヒアリングした内容は次世代の参考にさせていただきました。教育はぐんと東京都は進んでおり予算規模の違いや世帯収入の格差なども比べられないなと思いました。参考にすべきは都庁のセキュリティでした。ここは議会の安全性など見習うべきものでした。開かれて議会改革と安全な議会運営は別だと思いました。

東海電力の事故から学びが多く、歴史資料館での改善策や安全な運営実態（現状）もしっかりと把握させていただきました、隣の県として事故などが今後ないように調査しましたが徹底した運営体制が見られました。また広島電力の取り組みは広島の平和教育の視察の際にヒアリングを受けさせていただきました。場所を有効活用したカーシェアの屋根に実験的にEVステーションを作り効果が出ているとのことでした。ただ単にソーラーパネルではなく+EVが栃木県でもできたらいいなと思いました。

（財政）について

大阪の行財政改革の歴史と今現在までの府の預貯金と負債額についてまでお話を聞くことができました。10兆円あつた借金は半分以下になり、経済効果もかなり上がっている大阪府、まだまだ真似できませんが民営化・削減・議員定数削減など、栃木県にできそうな改革はありますが現実にはできるかと考えると、大阪から学んだもののこれを活かせる時期ではないなと思いました。引き続き検証していきます。財政の比較勉強会（県・市）に参加しました。他県と比べると今栃木県が秀でているところ、また劣っている部分がしっかりわかりました。

一般質問ではほんの1部しか質問ができなかつたので次につなぎます。

観光について

交通運輸省 TRAENCO 株式会社

ベトナム HITECO 人材センターハノイに本社を置き、年間2000人以上の人材を日本に大きな人材センターを持つ政府公認ベトナムの人材教育派遣の会社を栃木県庁産業労働観光部を表敬していただきました。私もベトナムには仕事でも多く行っているところですので今後もベトナムの人材を県にご紹介していきたいと思つます。

その後、日光粉川市長を表敬訪問し日光の労働者不足にサポートできないかなど

日光の問題点やベトナムからの受け入れの場合の内容などを通訳を通じておつなぎしました。

女性活躍の観点で財団として全国の議員と協力し活動している村上財団の村上さんのリーダー塾に参加させていただきました。今後は栃木県にも来ていただけるようお話を進めて行きます。

勤務間インターバルのこと大手工場企業の女性社長さまとの懇親会など栃木に今必要なのは企業誘致と新しい風だなと思つています。引き続き研究し、調査し、来年の一般質問につなげていきたいと思つます。